

「家がいいね」 第250号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2025. 3. 7



箱根の山は天下の險(けん)
 函谷關(かんこくかん) も物ならず
 万丈(ばんじょう)の山
 千仞(せんじん)の谷
 前に聳(そび)え
 後(しりぞ)に支(さ)え
 雲(う)は山(やま)をめぐり 霧(きり)は谷(や)をさす
 屋(や)猶(なほ)蘭(らん)(ひるなわくら) 杉(ま)の並(なら)木(き)
 羊腸(やうちよう)の
 小径(しょうけい)は
 苔(こけ)滑(なめ)ら
 一夫(いつぶ)關(かん)に當(あ)り
 万夫(ばんぶ)も開(ひら)け
 天下(てんか)に旅(たび)する剛毅(こうぎ)の
 武士(ぶし)もの心(こころ)
 大刀(だいたう)腰(こし)に
 足駄(あしだ)がけ
 八里(はちり)の岩(いわ)踏(ふ)み鳴(な)らす
 斯(か)くこそありしか
 往事(おとじ)の武士(ぶし)もの心(こころ)

箱根八里 1901(明治34)年

75歳は人生の難関か、はて

健脚だった昔でも登り下り、30キロ余の山道は難行苦行、おまけに怖い関所もありました。右の唄の頃に、湯本まで電車が通りました。スイッチバックの登山鉄道建設も始まったようです。電車がゆっくりと登る急坂も長く、終点も中腹です。幼い私に、誰がこの箱根八里(滝廉太郎作曲)を教えてくれたのか、全曲を唱い上げたと大人が驚いたと聞きました。再挑戦を試みましたが、古い脳の中からの再生は「苔なめらか」まででした。人生の古いの坂の転換点は、75歳(後期高齢者)が一つの関所です。通る壁が医療保険制度、運転免許、寿命が延び続ける時代は、**どう死ぬかよりどう老いるか**日々考えるのが肝要です。戦後のベビーブームの子(団塊世代)は、老いつつ**どう生きるか**の挑戦者です。多文化の世界を生き協調し次の世を育てる担い手です。

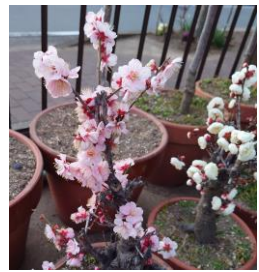


自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
 三重県伊勢市御園町高向 927
 電話 0596-20-8104
 ファクス 0596-20-8105
 メール homecare@kr.tep-ip.or.jp
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可



臨時休診のお願い
4月19日(土)は、
 遠藤出張し、外来休診です。
 在宅の患者様は
 大久保が担当します。

クリニックスは、現在より伊勢市駅近くで継続です。移転は数か月以内。下の写真の外壁が第一ヒント。



ご心配で
 しょうが、
 安心して
 ください。

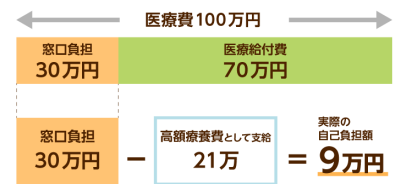


お引越し? 移転?

高額療養費制度 変わる自己負担限度額(月額)

年収	現行	2025年8月~
約1160万円~	25万2600円	29万400円 (+3万7800円)
約770万円~	16万7400円	18万8400円 (+2万1000円)
約370万円~	8万100円	8万8200円 (+8100円)
~約370万円	5万7600円	6万600円 (+3000円)
住民税非課税	3万5400円	3万6300円 (+900円)

高額療養費制度の仕組み



医療費を、もてあそばす国では困ります
 選ばれるを得ないのに高額な医療費。一方的で唐突な制度の改悪は、理不尽です。